

始めて行う配缶作業

昭和48年7月6日（金曜日）



1万5千人の栄養源

福岡市で
中学校給食

福岡市で五日から中学校給食がスタートした。大量調理を受け持つ学校給食センター（中央区那の津）は、毎朝てんてき舞い。市内十八校の二万五千人分を一度につくことが出来ないため、順次校数をあわせていくが、六日だけでも三校の二百七十三食分。調理はオートメシになっていくもの、調理員三十人は汗だくで、こった蒸、ソーセイジの油揚げなどのメニュー作り。「成長期の中学生にカロリーを標準以上にとらさず献立に努めます」とは指書の話だ。

（福岡）